

KOBE CONVENTION

2016.4 SPRING Vol.226



01 Kobe Portland Topics
トピックス

- ◆三位一体の運営 神戸コンベンションセンター
- ◆神戸市から3人目のMICE誘致アンバサダーが誕生!
- ◆G7神戸保健大臣会合200日前フォーラムの開催

09 Event Calendar
イベントカレンダー

11 Conference & Exhibition
国内、国際会議&展示イベント

グローバルMICE都市 神戸の未来を拓く 三位一体の運営 神戸コンベンションセンター



(一財)神戸国際観光コンベンション協会 会長 **小柴善博氏**
 日本コンベンションサービス(株) 代表取締役社長 **近浪弘武氏**
 (株)神戸ポートピアホテル 代表取締役社長 **中内 仁氏**
 ファシリテーター: VISIT JAPAN大使/川島アンシエイツ 代表 **川島久男氏**

左から(株)神戸ポートピアホテル 中内代表取締役社長、(一財)神戸国際観光コンベンション協会 小柴会長、VISIT JAPAN大使/川島アンシエイツ 川島代表、日本コンベンションサービス(株) 近浪代表取締役社長

コンベンション都市から グローバルMICE戦略都市へ

川島 神戸は1981年のポートアイランドの街開きから、日本を代表するコンベンション都市として多くの成功を収めてこられたことは周知のとおりです。そして2013年に観光庁からグローバルMICE戦略都市に指定された神戸では、今年がG7神戸保健大臣会合が開催され、2019年に国際義肢装具協会世界大会、国際リハビリテーション医学会などの大型国際会議の誘致に成功するなど数々の実績も挙げられています。

これらの国際会議の舞台となる神戸コンベンションセンターは、創設以来、神戸国際観光コンベンション協会が管理運営を担ってこられてきましたが、2010年より日本コンベンションサービスとタッグを組まれました。そして今回、2016年4月から神戸ポートピアホテルがコンソーシアムに参画され、新たな指定管理者としての取り組みがスタートされるとうかがっています。今日はグローバルMICE戦略都市の中核施設であるこの神戸コンベンションセンターの指定管理者として、都

市戦略の推進を担う皆さんにお集まりいただきました。神戸市がなぜ街づくりの中核としてコンベンションを位置付けたのか、その決断や経緯について。また神戸コンベンションセンターが果たしてきた役割。また新たな指定管理者のコンソーシアムによってコンベンションセンターが、さらには神戸がどのように変わっていくのか。その未来戦略について、お考えをお聞かせいただきたいと思います。

まずは小柴会長から、いち早くコンベンション戦略を掲げられた神戸市の当時の経緯や、その後、コンベンションセンターが果たしてきた役割についてお聞かせいただきたいと思います。

小柴 神戸は山と海に囲まれた非常に美しい都市で、都市発展の観点から山の土で海を埋め立て、人工島を造りました。この人工島の完成を記念して開催されたのが「ポートピア'81博覧会」でした。その後、各地で開催された地方博の先駆けで、1,610万人に来場をいただき大成功をおさめました。当時、私はポートピア博覧会協会に出向し、事務局で経理関係を担っていました。これまでにないこの

イベントが、本当にうまくいくのだろうか、財政計画も第6次までたてました。しかし結果として65億円もの基金を残し、ポートピア81記念財団を設立することができ、この財団が神戸での国際会議をサポートする仕組みを作りました。

神戸は重厚長大な産業で発展してきましたが、1973年にはファッション都市宣言を行うなど、多様な産業に対応する都市への転換を模索していました。このような中、ポートアイランドに国内外から多くの知識人や産業を呼び込む装置として、国際会議場、国際展示場(現在の1号館)、神戸ポートピアホテルからなるわが国初の国際コンベンション複合施設を誕生させました。その後、時代の要請に対応し1991年に国際展示場2号館を、2006年に3号館をオープンさせ、施設や機能の充実を図ってまいりました。

また神戸の都市施策と戦略的に連携してきた神戸国際観光コンベンション協会は、集客交流装置としてのコンベンションセンターの誘致営業・施設運営部門とシティセールスを中心とするコンベンションビューローを有しています。また、1986年からは神戸の特性である「港・海



(一財)神戸国際観光コンベンション協会 会長 小柴善博氏

をテーマとする国際コンベンション「Techno-Ocean」を自主事業として開催してきました。2000年には、他都市にはないイベントの運営母体として、経団連の海洋開発推進委員会の会長をトップにむかえてテクノオーシャン・ネットワークを設立。2年に一度の開催で今年はおかげさまで第16回を迎えます。

川島 都市の施策と連動する自主事業「Techno-Ocean」の立ち上げ、その継続開催に向けた強固な母体づくりなど素晴らしい取り組みです。もちろんご苦労も多いと思いますが、イベントの収支についてお聞かせいただけませんか。

小柴 財政的には神戸市からの援助もありますが、人材を含めイベントの企画・管理・運営を協会が担っています。こうした長年の取り組みの成果として、2018年にはアメリカのIEEEとの共催による「OCEANS'18」の神戸誘致に成功しました。

川島 IEEEと合同でのイベント開催は非常に大きな成果であり、神戸ブランドの向上に資するものです。小柴会長のお話を伺っていると、会議場、展示場、ホテルが一体化した誘致営業と施設運営をはじめ、まさに初めて尽くしです。そこで一つお伺いしたいのですが、他都市との違い、神戸の強みをどのようにお考えですか。

小柴 1981年から理想的なコンベンション複合施設を形成し、コンベンション都市を標榜し、都市への集客装置としての35年にわたる誘致営業や施設運営実績と、都市の施策と連動するイベントの主催者としての開催ノウハウ、さらに次代を先取る情報、トレンドの習得、蓄積が神戸の強みであり、グローバルMICE

戦略都市としてグローバルMICEの誘致にもつながっています。

神戸ブランドのワンストップサービス 三位一体の強みを活かす新提案へ!

川島 なるほど。こうした神戸の強みを背景に、新たなパートナーを迎えた指定管理者のコンソーシアムは、神戸のMICE戦略の大きな力になりそうですね。

小柴 2006年から指定管理者制度が導入され、当初は協会が単独で誘致営業と施設運営を行っていましたが、国際性などを鑑み2010年には日本コンベンションサービスに、そして今春からは最高品質のサービスを提供する神戸ポートピアホテルにも加わっていただきます。特にコンベンションホールもお持ちのポートピアホテルとは、今後、具体的なお話を詰めていかなければなりません。例えば宿泊、宴会などを含めた、神戸ブランドのトータルパッケージなどが提供できないかと考えています。

川島 おもしろい取り組みですね。さて小柴会長のお話に、国際化をより大きく進めるために日本コンベンションサービスをパートナーにコンソーシアムを組まれたとありますが、近浪社長はどのようなお考えで参画されたのでしょうか。

近浪 個人的な話ですが創業者である父が神戸高校出身でした。親戚の多くが神戸に住んでおり、私には神戸の血が脈々と流れています。弊社と神戸とのかかわ



ポートピア'81博覧会一博覧会協会のコンパニオンを教育・訓練し管理した日本コンベンションサービス

りは、「ポートピア'81博覧会」で博覧会協会のコンパニオンを募集し教育・訓練を実施し、半年にわたって管理をするお仕事を頂戴したことが始まりです。小柴会長のお話にもありましたが、このポートピアの大成功が全国での地方博覧会ブームにつながり、私どもも「ポートピア'81博覧会」での実績を買われ、ほとんどの博覧会でコンパニオンの育成の仕事に携わらせていただくことができました。

日本コンベンションサービスの社業はコンベンションサービス、通訳・翻訳サービス、人材サービスの3本の柱で成り立っていますが、「ポートピア'81博覧会」の経験があったからこそ人材サービスの今があり感謝に堪えません。1982年には神戸国際会議場に神戸支社を開業し、多くの皆様に叱咤、激励をいただき今日があります。神戸で育んできたこうした歴史があったからこそ、2010年には、神戸コンベンションセンターの指定管理者として参画する機会をいただけたと考えています。私どもを育ててくださった神戸、行政や市民の皆様へ恩返しをしなければならぬという思いで、指定管理に携わらせていただいています。

私どもの社業を通じて、コンベンション



2014年テクノオーシャン



国際会議



展示会



バンケット



日本コンベンションサービス(株)
代表取締役社長 近浪 弘武 氏

の主催者が求めるポイントを把握していたことが、指定管理者として施設の管理運営にそのノウハウを生かしたのではないかと、また神戸は数々の国際会議誘致に成功していますが、誘致に際してもお役に立てている部分があると感じています。

川島 主催者のニーズを熟知しているPCOの視点で、新しいノウハウを共有されてこられたというお話ですが、国際性という観点で日本コンベンションサービスはコアPCOであるMCIグループとの合併会社も設立されておられますね。

近浪 2008年にICCAやINCONなどの国際団体の活動を通じて関係のあったMCIグループというスイスに本社がある世界最大級のPCO・イベントプランナー会社と「MCI-JCS Japan」という合併会社を設立しました。

MCIグループはコアPCOとして、またグローバル企業のコアハウスエージェントとして、国際会議やインセンティブなど、携わる案件の開催地を決定する立場にあります。国際会議の誘致先を投票で決める案件では、投票権を持つ方々との関係づくりなどロビイング活動が重要なポイントとなります。MCIグループとのネットワークを生かすことで誘致先を日本へ、そして神戸へと誘導しやすくなります。

川島 先代から関係の深い神戸で、MCIグループとの連携関係にある立場を生かして、コンベンションセンターの運営や神戸への国際会議等の誘致に大きな力を発揮されているというお話ですね。

さてJNTOの統計によると神戸ポートピアホテルは、ここ数年、京王プラザホテルをおさえてホテルでの国際会議開催件数は日本一です。その実績を携えて今春からは、神戸コンベンションセンターの

指定管理者の一員となられるわけですが、これまでの連携のスタイルとの違いを中内社長はどのようにお考えですか。

中内 経営者の勉強会での先輩でもある近浪社長は、『神戸にゆかりがあり、御恩返しを考える中で巡ってきた良い機会』とおっしゃっていましたが、私たちも思いは同じです。これまで大変お世話になった神戸国際観光コンベンション協会、あるいは神戸市へのご恩返しの気持ちから、私たちに何かお手伝いができることがないかとご相談させていただき、今回コンソーシアムに加わらせていただくことになりました。

さて、神戸ポートピアホテルのこれまでの道のりとして、神戸に国際級の大型シティホテルを作りたいと考えた創業者が研究を重ねる中で、単に新しいホテルを建てただけではビジネスとして継続するのは難しく、神戸の新たな都市づくりにお役に立てるホテルを建てたいということをお話いただき、神戸市にご相談をさせていただき、1981年にコンベンションセンターに隣接した地上31階、宴会場20室、客室数550室の大型ホテルをオープンすることになりました。今年で35年となりますが、当初はこの規模の都市ホテルがほかになかったこともあり、コンベンションを中心に結婚式や観光と、多様な需要に一手に対応させていただき時代でした。しかし次第に競争が増え、厳しさを増すマーケット環境にあって「自分たちの生きていく道」を再考する中で、メインターゲットはコンベンションである、その上で「誰に、どのようなサービスを提供するのか」といったコンセプトを全社員と共有したのが2008年です。関西生産性本部にもご指導をいただきながら、阪神・淡路大震災後の神戸市の医療産業都市推進と呼び、特に医療分野にフォーカスしたコンベンション対応に取り組んでまいりました。

昨年は神戸では初となる「日本医学会総会」が第29回日本医学会総会 2015 関西として開催されました。メインの会議は京都でしたが、神戸では国際展示場一般市民向けのイベントが開催され、今年はG7神戸保健大臣会合が開催されるなど、都市のコンセプトと連動する大きなコンベンション開催の実現をうれしく思っています。

このような中で次のビジネスに対して、これまでの「開催されるコンベンションを

お世話させていただく」というスタンスから脱却し、メディカルやヘルスケアのコンベンションの自主開催、またホスピタリティを極め、メディカルのホスピタリティについてトレーニングする存在になれるか、あるいは神戸にはメディカル関連施設がたくさんありますから、こうした施設と提携することで例えば1週間も滞在すると健康になるホテル、病気を予防する食事や運動、時間の過ごし方などを提案・発信していくのはどうかと、関西生産性本部や大学の先生方にご指導を受けたところです。

コンソーシアムの一員としてこれまで以上に連携を深めることで、コンベンション協会が「Techno-Ocean」などを自ら開催される事例のお話にも、私たちにさらなる勉強の機会となると期待するとともに、先ほど小柴会長からトータルパッケージの開発・提供というアイデアもありましたが、私たちに提供ができること、またお客様に還元ができることを積極的に取り組んでいきたいと考えています。

市民・主催者・参加者目線のサービスと都市政策と連動する共同マーケティング

川島 とすると公的な組織には欠けがちな、質の高いサービスやホスピタリティが、国際的な一流ホテルとしての神戸ポートピアホテルに期待される部分ではないかと感じますが、いかがでしょうか。

小柴 おっしゃる通りで、神戸ポートピアホテルの最高品質のホスピタリティ、日本コンベンションサービスの国際ネットワークによる三位一体が新たなコンソーシアムの魅力です。

川島 コンベンションホテルとして成功されている神戸ポートピアホテルが参画することで、ホスピタリティに加えてセールス強化も期待されるのではないのでしょうか。また皆さんがICCAメンバーであるこ



神戸コンベンションセンター

とから、今後はICCAデータを活用した協働マーケティングなども強化できますね。

小柴 民間のノウハウや経験を取り入れる指定管理者制度のおかげで、日本コンベンションサービスや神戸ポートピアホテルとのコンソーシアムが実現し、施設の管理運営者として進化を果たすことができたと感じています。

川島 3者のコンソーシアムで新たに開発されるグローバルMICE戦略都市・神戸の未来戦略をどのように思い描かれているでしょうか。

小柴 まずは市民目線、主催者目線、参加者目線と、役割分担を行いながら一体的に相乗効果を上げていきたいと考えています。神戸市では阪神淡路大震災後、神戸をどのように再生していくかの議論がなされました。このような中で、第22代京都大学総長を務めた井村 裕夫 先生(当時、中央市民病院院長)、大阪大学、神戸大学や関西主要な先生方に参画をいただき、1998年に打ち出された医療産業都市構想では非常に大きな目標を掲げ、昨年12月現在、313社が神戸に進出しており7,200人の雇用を創出するなど成果を上げています。

こうした神戸市の施策実現に向けて、我々も医療産業都市・神戸に資する医療関連のコンベンションの誘致に注力しており、数々の医療関連コンベンションの誘致に成功を収めています。その取り組みの一例をご紹介します。兵庫県立リハビリテーション中央病院ロボットリハビリテーションセンター長の陳 隆明先生を、観光庁が主導する「MICEアンバサダー」に推薦させていただき、国を挙げての支援もあり、おかげさまで昨年6月のドイツ・ベルリン大会において、参加者5,000人規模の大型国際会議「国際義肢装具協会世界大会」の神戸開催(2019年)が決定しました。続いて7,000人規模の「国際リハビリテーション医学会」の日本初開催(2019年)に向けた誘致にも成功。このようにオリンピックイヤー前年に、パラリンピックにも関連の深い2つの大型国際会議の神戸開催は、医療産業都市としての神戸、さらには先進医療国としての日本を世界にアピールする機会であり、関係機関と連携しながら開催効果の最大化を図ってまいりたいと考えています。

川島 既に医療関連企業だけでも313社が進出しており、このほかにも研究機関や病院も集積が進み、治療を含めたツーリズムへも取り組まれる中で、コンソーシアムとしてはコンベンションを活用し、医療産業都市としての神戸をさらに発展させていくというお考えですね。

小柴 京都大学教授の山中 伸弥 教授が初めて作製した人工多能性幹細胞(iPS細胞)を使った眼の網膜の再生医療施設「神戸アイセンター(仮称)」の整備も進められており、2016(平成28)年度中には完成する予定です。このように、今後も医療産業はもとより、「京」で知られるスーパーコンピューターや世界最高性能の放射光を利用することができる大型放射光施設(SPring-8)など、モノづくりを牽引し防災に貢献する先進の取り組みが周辺のサイエンスクラスターで展開されており、他都市にはない神戸ならではの魅力を発信していきたいと考えています。

川島 神戸のビジネスとアカデミアにおける多彩な取り組みと連携し、他都市とは異なる魅力をもつコンベンション都市づくりにも活用するというお考えでした。次に中内社長は、どのように未来をお考えですか。

中内 地元で公的なネットワークをお持ちの神戸国際観光コンベンション協会、国際的なネットワークや知見をお持ちの日本コンベンションサービスのタッグに、新たに加えていただくことになった私どもとしては、新たにコトを起こしていきたいという思いと、現状の延長線上でさらなる発展のお手伝いをさせていただけることがあるのではないかと考えています。

明るく清潔で、住みやすいのが神戸の魅力ですが、メディカルやモノづくりは、神戸が歴史的に取り組んでいる主力の分野です。例えば地場産業でもあるお酒をテーマにコンベンションが開催できないかと、酒造組合と意見交換をさせていただいております。スイーツも神戸らしいものの一つで、パティスリーの世界大会の誘致など、私たちの生活・文化の分野でのネットワークもコンソーシアムに活かしていければと考えています。

また東京は別格ですが、地方都市での学会開催において、「最も参加者が集まった」という記録が多いのも神戸の魅力だ



(株)神戸ポートピアホテル
代表取締役社長 中内 仁 氏

と思います。新幹線に加え神戸空港も至近な神戸は、交流を支えるアクセス面に優れた都市です。プレ・ポストコンベンションに活用いただける市内中心部へも、コンベンションセンターからポートライナーで10分。ここには美味しくリーズナブルな食事を楽しめる飲食店やお土産店も多数集積しています。

そして今年2月16日に、神戸空港が開港10周年を迎えました。関西の3空港のうち関西国際空港と伊丹空港の2空港が一体運営されることになりましたが、この3空港の中で神戸空港の役割を考えた時、近・中距離の国際線を担う空港として使命を果たすことができるようになれば、アジアの中で神戸の存在感がさらに拡大するでしょう。将来的に「最も参加者が多かったのは神戸だった」という記録を国際学会においても樹立し、アジアで国際会議や展示会を開催するなら「人が集まる神戸で!」としていきたいと考えています。

即効性と中長期の仕組みと起爆力 都市と市民に未来をもたらすMICE

川島 ホテル独自のネットワークを活用し、神戸の魅力や資源を活用した生活や文化に関わるコンベンション創出や誘致、また人が集まる神戸を国際的に拡大したいというお考えでした。

近浪社長は、未来をどのようにお捉えですか。

近浪 三位一体のコンソーシアムの力を最大限に生かすためには、3つのポイントがあると考えています。まずは「即効性」です。参加登録者への情報発信や問い合わせ対応を担当する我々 PCOの立場から申し上げますと、それぞれのコンベンションにあわせて的確なサポート、ホスピタリティを発揮するために、信頼に基

づいて情報や人脈を共有することでスピーディな対応を実現していきたいと考えています。

2つ目は「仕組みづくり」です。来訪者にハビネスを提供するために、一つ一つのコンベンションでは困難な取り組みを中長期的な視野をもって取り組む必要性を感じています。

3つ目は「起爆力」です。神戸コンベンションセンターに集う行政公的機関、メディア、教育機関、市民団体や民間企業などさまざまな方々を、高いホスピタリティでお迎えすることが、経済波及効果にとどまらず神戸の未来づくりに大きな力を発揮すると思います。先日、神戸で開催された「第29回日本医学会総会2015 関西一般公開展示」では、子どもたちが展示会を通じて肌感覚で未来の医療を感じるものがあつたようで、アンケートには「お医者さんになりたい」といった回答も多数寄せられています。これはMICEの経済効果に匹敵する、あるいはそれ以上の効果を都市や未来にもたらしていると実感しました。

先日、デュッセルドルフで開催された世界最大の医療機器の商談会「MEDICA」を視察しました。空港の入国審査で「展示会に来ました」と言うと、「MEDICAだね」とほほ笑んでくれます。タクシーに乗っても「MEDICAですか?」と声をかけられ、レストランに入っても「MEDICAでしょ。ネームカードがあればサービスがありますよ」、お土産店に入っても同様。どこへ行っても街中で情報が共有されていて、歓迎してくれるわけです。神戸でも三位一体となって、3者の力を合わせて3倍ではなく3乗とし、我々のチームワークをもって街ぐるみで来訪者をお出迎えられるような取り組みに発展させたいと考えており、新たに加わってくださる神戸ポートピアホテルが持つ厚く広い人脈やホスピタリティにも大いに期待しています。

加えて小柴会長からお話のあった医療産業都市構想について申し上げますと、再生医療はもとより、ゲノム、バイオ、予防医学、医療機器など、医療分野の急激な変化は明白です。人類の生命と健康を両立させ守っていく時代に、ドクターだけではなく工学、あるいは民間のものづくり等のエッセンスを掛け合わせる新たな展開がスタートしています。日本人が持つ研究・発明・開発力が注目される中で、日本人の叡智が産業化に至らない残念な

部分もあり、国や行政、民間企業がこれを支えなければならないと感じています。神戸には全国に先駆けて医療産業の集積がある。これは、ものすごく大きな強みです。

実は昨年2ヵ月間、怪我をして正常に歩くことができない生活を余儀なくされたのですが、その不自由さは、実際に経験をしてみないとわからないかもしれません。高齢化社会では、二足歩行が困難な人たちも急激に増え、人々が幸せに生きていくことを支えるリハビリテーションや義肢装具などの分野の研究、また産業も大きく伸びていくでしょう。このような中で、東京オリンピック・パラリンピックの前年に世界最高峰のリハビリテーションや義肢装具の国際会議が開催されることは、これまでの歴史を含め、神戸の持つエネルギーの大きさを感じています。

川島 神戸でコンベンションが開催されることで、経済効果だけでなく市民の皆さんが「役にたった。おもしろかった」とおっしゃっている。それを起爆力と表現され、神戸には潜在的に起爆力があるというお話でした。私は同様の意味合いで、「MICEは経済効果にとどまらず、参加者の国際ネットワークを拡大する、あるいは参加者が新たな知見を得てイノベーションが生まれる、また主催者や地域にブランド効果をもたらすなど、さまざまなレガシーを誘発する」とかねがね申し上げています。

またさまざまな研究分野が医療と連携して発展していこうという見解の中で、未来の社会が求める新たな医療の在り方を実現できる医療産業都市・神戸のポテンシャルについて指摘され、コンソーシアムが構成員それぞれの立場で力を発揮するというお話が非常に印象に残りました。

近浪 日本医学会総会の一般公開展示に川崎重工業株式会社が出席していましたが、アンケートに「川崎重工が医療に貢献していることを初めて知りました」といった回答もありました。これからは医学と工学のマッチングをお手伝いするなど、MICE誘致の方向性にも新たな戦略を持ちたいと思います。



VISIT JAPAN大使 川島アソシエイツ 代表 川島 久男氏

小柴 日本医学会総会の一般公開展示は当初25万人の来場を見込んでいましたが、予想をはるかに上回る29万人にご来場をいただきました。中でも子供たちが手術を体験するプログラムがありました。生き生きとした子どもたちの瞳が心に残る素晴らしい取り組みで、子どもたちに夢を与えることは経済効果を超えるMICEの効果だと実感しました。また機械金属工業会との連携で実用化に至った医療機器など、ある分野のノウハウの蓄積が異なった分野に活かされることで、新たなビジネスを開拓した事例も多々あります。

「産業インフラ」であり「知の交流拠点」であるコンベンションセンターでは、より多くの新たな取り組みや成功事例をご紹介できることを楽しみにしています。同時に三位一体による日本初のワンストップサービスを最高品質のホスピタリティで提供することにより、新しい「コンベンションブランド」に挑戦し、「グローバルMICE都市・神戸」を牽引する「コンベンションシティ・ブランド」を実現していきたいと考えています。

川島 まさに、未来を実現するための新たなコンソーシアムですね。新たな神戸の未来づくりに期待しています。本日はありがとうございました。



第29回日本医学会総会2015 関西 一般公開展示「未来医XPO'15」

神戸市から3人目のMICE誘致アンバサダーが誕生!

平成28年(2016年)3月、コンベンション推進機関から推薦された候補者から8名の方々が日本政府観光局(JNTO)により「MICE誘致アンバサダー」として認定され、就任式が行われました。

神戸市からは、3人目となる国立循環器病研究センター研究所 山岡 哲二 先生を推薦し、選定されました。これにより、陳 隆明 先生(兵庫県立リハビリテーション中央病院)、坂井 信幸 先生(神戸市立医療センター中央市民病院)に続き、3人目の「神戸市 MICE誘致アンバサダー」が誕生しました。



3月10日 MICE誘致アンバサダー就任式



神戸市 MICE誘致アンバサダー 左から
陳 隆明 先生(兵庫県立リハビリテーション中央病院)
坂井 信幸 先生(神戸市立医療センター中央市民病院)
山岡 哲二 先生(国立循環器病研究センター研究所)

神戸市 MICE誘致アンバサダー(3人目)



山岡 哲二 先生

(国立循環器病研究センター研究所 生体医工学部 部長)

平成22年より、国際バイオマテリアル学会連合(IUS-BSE)日本代表として、IUSBSEに出席し、日本のバイオマテリアル科学およびバイオマテリアル技術の推進のため、積極的に活動を行っています。

誘致案件: 第12回世界バイオマテリアル会議(WBC)

4年に1回開催され、約25カ国、約4,500名以上が参加するバイオマテリアル領域で最大規模の国際会議。1988年に日本で第3回世界バイオマテリアル会議(WBC)が開催されて以降、再び日本(神戸)開催を目指し、2024年の誘致を行っています。2016年2月、海外キーパーソンを神戸に招請し、開催会場および理化学研究所をはじめとした周辺施設の視察を行いました。



神戸市からのプレゼンテーション



理化学研究所 視察

MICE誘致アンバサダーとは・・・

関連分野の学会・協会に対して国内外で強い影響力を有し、当該分野の代表的存在かつ国際的なネットワークを有する方々。JNTOにより認定され、日本の国際会議開催件数の増加や日本国内における国際会議開催の意義に対する理解度の向上、並びに海外における日本のプレゼンス向上を目的として、日本の広報活動や国際会議の誘致活動を行っています。



G7神戸保健大臣会合の開催200日前にあわせて イベント&PRを実施!

G7神戸保健大臣会合推進協議会では、本年9月11日(日)・12日(月)に神戸市で予定される「G7神戸保健大臣会合」の開催200日前を迎えた2月24日、市内で記念フォーラムを開催しました。あわせて、統一デザインのポスターやチラシ等を用いてPR活動を展開するなど、「G7神戸保健大臣会合」の認知度アップに取り組んでいます。

■ 200日前フォーラム「感染症との闘い」～エボラ出血熱との闘いを語る～

WHO神戸センターとG7神戸保健大臣会合推進協議会は、フォーラム「感染症との闘い～神戸・ひょうごから、グローバル・ヘルス・ガバナンスを考える～」を2月24日、神戸国際会議場で開催しました。当日は医療関係者、保健所、検疫所関係者をはじめ、行政関係者、市議員、研究者、学生等約250人が参加しました。

まず、WHO神戸センターの茅野 龍馬テクニカル・オフィサー(健康危機管理担当)が「グローバル・ヘルス・ガバナンス」をテーマに講演。エボラ出血熱、中東呼吸器症候群(MERS)やジカ熱を例に、ボーダーレスの時代には感染症はいかに早く、広く拡大するかを示し、その対応には政府・国際機関のみでは不十分で、地元自治体やコミュニティとの協働、地域住民が「自分ごと」として関わることが大切であると強調しました。



研究者、医療従事者といったそれぞれの立場から講演が行われました

続いて、シエラレオネ保健省のサミュエル・カーボ氏と同国コノ地区医療管理者のロナルド・カルシヨ・マルシュ医師が「エボラ出血熱との闘い」について、初動時にはエボラ出血熱に関する専門知識が不足し、感染症対策への備えや監視・データ収集体制等が不十分だったこと、また適切な埋葬方法の普及等コミュニティの協力を得ることが難しく、多くの苦労があった経験を紹介しました。

さらに、WHO本部の保健サービス及び危機管理部シャムズ・ババル・シェド次長が講演し、エボラ出血熱に対するWHOの対応について話しました。「マルシュ医師やカーボ氏のように第一線で闘う人たちの協働の上に、WHOは持続可能で強靱な保健システムの再建に向けた提言を、加盟国に対して、とりわけエボラ感染国に対して行うことができる。また、保健システムの再建には、基礎的な保健サービスの早期再開、コミュニティとの連携、医療従事者の安全確保や質の高いサービスの供給等が早期に必要で、それぞれの地域の保健システムの確立がグローバル・ヘルス・ガバナンスにつながる」と話しました。最後に、健康危機や災害への備えや対応においてもユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進が基礎になると締めくくりました。

参加者からは「様々な角度からの感染症への取り組みについて勉強になった」といった声があったほか、WHO神戸センターからも「G7神戸保健大臣会合に向けて神戸市、兵庫県と連携した取り組みを市民とともに進めていきたい」と表明があり、G7神戸保健大臣会合の開催に弾みをつけるものとなりました。協議会では今後も、このような取り組みを通じて会合に関連する内容をわかりやすく発信し、機運醸成に取り組んでまいります。



ポスターやチラシ等で広報に取り組んでいます

現在、PR展開の一環として、ポスター・チラシ等を駅や神戸市役所等の各所で掲示・配布しています。神戸ポートタワーと国旗等で神戸にG7各国やEUが集うイメージを、紙飛行機で「兵庫・神戸へたくさんの方々にお越しただく」「兵庫・神戸を世界へ発信する」という想いを、それぞれ表現したデザインとなっています。また、2月24日にはホームページを開設しました。会合に関する情報や協議会の取り組み、協議会イベント案内等、順次情報を充実させて発信していきます。

G7神戸保健大臣会合推進協議会ホームページ <http://www.kobe-g7.jp>



G7 神戸

検索

G7神戸保健大臣会合開催概要

G7神戸保健大臣会合は、5月26日(木)・27日(金)に開催される伊勢志摩サミット(主要国首脳会議)に関連して開かれる関係閣僚会合で、G7各国の保健担当大臣やEU(欧州連合)等の国際機関の代表が神戸に集まり、保健分野における国際的な課題を議論する重要な会合です。G7神戸保健大臣会合は、G7/8の枠組みで開催される3回目の保健大臣会合となります。

- ◆会場: 神戸ポートピアホテル
- ◆出席者(予定): G7(日本、アメリカ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、カナダ)の保健担当大臣、EU等の国際機関代表

これまでに開催されたG7/8保健大臣会合

- ◆平成18年4月27・28日 G8保健大臣会合
開催地: モスクワ(ロシア) テーマ: 感染症
- ◆平成27年10月8・9日 G7保健大臣会合
開催地: ベルリン(ドイツ) テーマ: 薬剤耐性、エボラ出血熱



G7ベルリン保健大臣会合 写真出典「BMG/photothek」

G7神戸保健大臣会合推進協議会

G7神戸保健大臣会合の成功に向けて、兵庫県、神戸市、神戸商工会議所をはじめとした経済団体や、保健医療分野等の各種団体の計31団体で構成される「G7神戸保健大臣会合推進協議会」を設立しています。協議会では、G7各国の大臣や政府関係者、国際機関や報道機関関係者等、多くの方が神戸にお越しになるこの機会を捉えて、

- 開催支援・おもてなし(おもてなしの気持ちでお迎えし、会合の円滑な開催を支援する)
- 兵庫・神戸の発信(日本最大の医療産業クラスターを形成する神戸医療産業都市や、兵庫・神戸地域の魅力・産業等に加え、震災時に寄せられた多くの支援に対する感謝の気持ちを広く世界に発信する)
- 歓迎機運の醸成(広く県民・市民に会議の開催内容や意義をご理解いただく)

のための取り組みを、官民が一体となって進めます。そして、神戸でこの会合が開催されて良かったと多くの方に思っただくことで、会合開催の成功に繋げていきます。

2016.4-9 KOBE CONVENTION & EVENT CALENDAR

○国内 ●国際 ◎その他イベント

会期	名称	会場	参加者数(人) (内外国人)	会長・主催者または事務局	分類
2016年4月 25日(月)	進路発見広場 進路フェスタ2016 神戸会場	神戸国際展示場	1,500	(株)さんぽう	◎
4月29日(金・祝)~5月1日(日)	アート&てづくりパザール IN KOBE Vol.5	神戸国際展示場	800	テレビ大阪	◎
2016年5月 7日(土)	COMIN'Kobe 16	神戸国際展示場 ワールド記念ホール	35,000	一般社団法人COMIN'KOBEM実行委員会	◎
9日(月)~12日(木)	Parallel CFD 2016 -28th International Conference on Parallel Computational Fluid Dynamics	神戸国際会議場	160 (100)	会長 森西 晃嗣(京都工芸繊維大学 工学科学部) 小野 謙二(理化学研究所 計算科学研究機構)	●
14日(土)~15日(日)	第5回日本視野学会学術集会	神戸国際会議場	700	会長 中村 誠(神戸大学大学院医学研究科 外科系講座眼科学分野 教授)	○
18日(水)~21日(土)	第57回日本神経学会学術大会	神戸国際会議場 神戸国際展示場 神戸ポートピアホテル 神戸商工会議所	7,000 (200)	会長 梶 龍兒(徳島大学大学院医歯薬学研究所 医科学部門内科系臨床神経科学分野 教授)	●
21日(土)	第7回日本ニューロリハビリテーション学会 学術集会	神戸国際会議場	1,000 (20)	会長 宮井 一郎 (社会医療法人大道会 森之宮病院 院長代理)	○
11日(水)~13日(金)	第20回 神戸国際宝飾展 (JK2016)	神戸国際展示場	12,500	リードエグジビジョンジャパン株式会社 特別後援/一般社団法人 日本真珠振興会	●
25日(水)~27日(金)	第65回高分子学会年次大会	神戸国際会議場 神戸国際展示場	3,000 (40)	運営委員長 松本 章一 (大阪府立大学大学院 工学研究科)	○
25日(水)~26日(木)	第154回2016 秋冬 日本グランドシェーズコレクション	神戸国際展示場	2,500	日本ケミカルシューズ工業組合	◎
28日(土)~29日(日)	11th Annual Meeting of the Japanese Society for Molecular Imaging, 4th Annual Meeting of the Federation of Asian Society for Molecular Imaging.	神戸国際会議場	500 (10)	大会長 杉村 和朗 (神戸大学大学院医学研究科放射線医学分野 教授)	●
28日(土)~29日(日)	日本体外循環技術医学会 2016年度(第11回3年次)教育セミナー	神戸国際展示場	1,000	開催委員長 佐藤 昌臣 (関西医科大学附属滝井病院 臨床工学センター)	○
5月31日(火)~6月2日(木)	IHTESH 2016 Kobe 国際半導体先端科学技術環境安全会議	神戸国際会議場	100 (20)	一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)	●
2016年6月 3日(金)~4日(土)	平成28年度 一般社団法人日本樹木医会・兵庫大会	神戸国際会議場	350	兵庫大会実行委員会委員長 鳥越 茂 (一般社団法人日本樹木医会兵庫支部長)	○
4日(土)	第42回日本呼吸療法医学会セミナー	神戸国際会議場	270	一般社団法人日本呼吸療法医学会 セミナー委員会	○
9日(木)~11日(土)	第64回日本化学療法学会総会	神戸国際会議場 神戸ポートピアホテル	2,000 (2)	会長 荒川 創一 (神戸大学医学部附属病院 感染制御部)	○
12日(日)	2016神戸太極拳カーニバル交流大会	神戸国際会議場	1,000	NPO法人神戸太極拳協会	◎
18日(土)~19日(日)	第40回母乳育児支援学習会 in 神戸	神戸国際展示場	800	NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会	○

会期	名称	会場	参加者数(人) (内外国人)	会長・主催者または事務局	分類
25日(土)~26日(日)	第4回日本腎不全栄養研究会学術集会・総会	神戸国際会議場	300	大会長 濱田 康弘(徳島大学大学院 医歯薬学研究所 疾患治療栄養学分野 教授)	○
30日(木)~7月3日(日)	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー & EACoN 2016	神戸国際展示場	900 (200)	代表幹事 坂井 信幸(神戸市立医療センター中央市民病院) 宮地 茂(大阪医科大学) 江面 正幸(仙台医療センター)	●
2016年7月 3日(日)	第28回兵庫県理学療法学会学術大会	神戸国際会議場	1,000	株式会社コンベンションアカデミア	○
8日(金)~10日(日)	創立60周年記念大会 第16回全日本フォークダンス大会	ワールド記念ホール 神戸国際展示場 神戸国際会議場 神戸市立中央体育館	7,000	公益社団法人 日本フォークダンス連盟	◎
16日(土)~17日(日)	第23回日本義肢装具士協会学術大会	神戸国際会議場	1,300 (50)	会長 小西 克浩(株式会社澤村義肢製作所)	○
28日(木)~30日(土)	第14回日本臨床腫瘍学会学術集会	神戸国際展示場 神戸国際会議場	5,500 (200)	会長 南 博信(神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科)	●
2016年8月 5日(金)~7日(日)	第8回日本臨床睡眠医学会学術集会	神戸国際会議場	300	組織委員長 香坂 雅子 (特定医療法人朋友会石金病院)	○
8日(月)~11日(木)	固体におけるスピン関連現象の物理と応用に 関する国際会議(PASPS 9)	神戸国際会議場	250 (80)	実行委員長 大岩 颯(大阪大学産業科学研究所) 小林 研介(大阪大学大学院理学研究科)	●
8日(月)~10日(水)	第40回全国学校図書館研究大会(神戸大会)	神戸国際展示場 神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス	4,000	大会長 高井 芳朗(兵庫県教育長)	○
27日(土)~28日(日)	第5回日本包括歯科臨床学会総会	神戸国際会議場	600 (50)	会長 国賀 就一郎	○
28日(日)	第45回日本消化器がん検診学会近畿地方会	神戸国際会議場	600	会長 水間 美宏 (神戸アドベンチスト病院消化器内科)	○
31日(水)~9月4日(日)	1)第32回世界医学検査学会 2)第63回日本臨床検査医学会学術集会 3)第65回日本医学検査学会 4)第11回日本臨床検査学教育学会学術大会	神戸国際会議場 神戸国際展示場 神戸ポートピアホテル 神戸常盤大学	7,000 (200)	1) 宮島 喜文 (一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 会長) 2) 小柴 賢洋 (兵庫医科大学臨床検査医学 主任教授) 3) 中町 祐司(神戸大学医学部附属病院検査部/ 公益社団法人兵庫県臨床検査技師会 会長) 4) 坂本 秀生 (神戸常盤大学保健科学部医療検査学科 学科長)	●
2016年9月 8日(木)~9日(金)	国際フロンティア産業メッセ2016	神戸国際展示場	29,000	国際フロンティア産業メッセ2016実行委員会	◎
8日(木)~11日(日)	(仮称)G7保健サミット in KOBE 国際フロンティア産業メッセ2016特別展示 [同時開催]	神戸国際展示場	20,000	G7神戸保健大臣会合推進協議会 国際フロンティア産業メッセ2016実行委員会	◎
9日(金)~10日(土)	第23回日本門脈圧亢進症学会総会	神戸国際会議場	600 (20)	会長 廣田 省三 (兵庫医科大学放射線医学講座 主任教授)	○
11日(日)~12日(月)	G7神戸保健大臣会合	神戸ポートピアホテル	150 (70)	厚生労働省	●
27日(火)~30日(金)	第6回日本伝道会議	神戸国際展示場 神戸国際会議場	2,000 (100)	第6回日本伝道会議実行委員会 実行委員長 竿代 照夫 会長 中台 孝雄	○

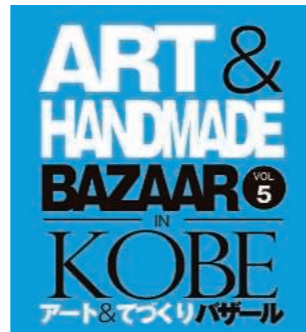
2016年4月～9月 神戸開催の国内、国際会議・展示イベント

アート&てづくりバザール IN KOBE Vol.5

会期 / 2016年4月29日(金・祝)～5月1日(日)
会場 / 神戸国際展示場3号館
主催 / テレビ大阪

関西最大級の室内型アートイベントとして定着した「OSAKAアート&てづくりバザール」。
2012年5月にデザイン都市・神戸で「アート&てづくりバザールinKOBE」を初開催、今年の開催は5回目となります。アクセサリー、バッグ、革製品、ガラス工芸、ステーションナリーから木工、陶芸、雑貨、イラストまで…色とりどりの個性がちりばめられたたくさんのブースを見てまわると「1日では足りない!」という声が毎回多く寄せられており、今年は初めて3日間開催することになりました。
さらに、来場者の方が参加できるワークショップのコーナーも人気。気軽にワークショップコーナーへもお立ち寄りください。
今年のゴールデンウィークは、いろいろな作品に出会う!楽しむ!さまざまなジャンルから自分だけの「オシャレ」を探してみよう!

ホームページ http://www.tv-osaka.co.jp/event/makingbazaar_kobe/



Parallel CFD 2016 -28th International Conference on Parallel Computational Fluid Dynamics

会期 / 2016年5月9日(月)～12日(木)
会場 / 神戸国際会議場
会長 / 森西 晃嗣(京都工芸繊維大学 工学科学部)
小野 謙二(理化学研究所 計算科学研究機構)

本会議は流体シミュレーションの並列計算技術研究についての国際会議です。流体シミュレーションの応用範囲は広く、産業と結びついた実学の側面をもつ特色のある学際研究領域です。本会議では最新の研究成果を活発に議論する機会であるとともに、計算機の運用や関連する人材育成など、ノウハウや人のつながりを大事しているコミュニティです。1989年米国にて会議が開催されて以来、今年は神戸で28回目の開催となりました。多くの皆様の参加をお待ちしています。



森西 晃嗣 小野 謙二



ホームページ <http://www.conf.kit.ac.jp/parcfd2016/index.html>

第5回日本視野学会学術集会

会期 / 2016年5月14日(土)～15日(日)
会場 / 神戸国際会議場
会長 / 中村 誠(神戸大学大学院 医学研究科外科系講座眼科学分野教授)

日本視野学会は我が国における視野障害による失明者をなくすことを究極の目的とし、我が国の視野障害者診療と、視野研究のレベル向上を実現することを目的に設立されました。日本視野学会は視覚障害の認定基準改定を主導しており、医療従事者のみならず、一般市民にも重要な内容も取り扱う学術集団です。第5回となる学術集会はテーマを「視野検査のレゾナント」とし、視野検査の重要性、存在意義を参加者の皆様と共有しようと考えています。特別講演、シンポジウムなど、魅力溢れる学術集会にしたいと考えております。



ホームページ <http://jps.umin.jp/meeting/m-index.html>

第57回日本神経学会学術大会

会期 / 2016年5月18日(水)～21日(土)
会場 / 神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル、神戸商工会議所会館 神商ホール
会長 / 梶 龍児(徳島大学大学院 歯歯薬学研究部 医科学部門 内科系臨床神経科学分野教授)

第57回日本神経学会学術大会を神戸で開催することになりました。50年を超える日本神経学会の歴史において神戸で開催するのは初めてになります。本大会は「なおる神経内科をめぐって」をメインテーマとしています。神経内科は国民的課題になっている認知症、介護保険の要介護認定者が最も多い脳卒中、治療法の開発・進歩が望まれる神経難病など、幅広い疾患を対象にしています。プログラムは最先端の治療のプログラムとともに教育企画を充実させました。
また連日市民公開講座を開催いたします。18日は脳卒中、認知症、19日は重症筋無力症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、20日は末梢神経障害、ポリオ、ジストニア、21日は筋疾患、神経内科総論を取り上げます。市民の皆様の多数のご参加をお待ちしております。
5月の神戸は特に素晴らしい景色を見せてくれますが、社会的関心の高い神経疾患について熱い議論が交わされることを期待しています。



ホームページ <https://www.neurology-jp.org/sokaitiho/neuro2016/>

都心に近くアクセス便利な「神戸空港」

神戸空港ネットワーク図

- 姫路 JRで40分
- 三宮 JRで20分
- 大阪(梅田) JRで30分
- 京都 JRで30分
- 長崎 約60分
- 茨城 約75分
- 東京(羽田) 約70分
- 鹿兒島 約65分
- 長崎 約60分
- 東京(羽田) 約70分
- 鹿兒島 約65分
- 沖繩(那覇) 約2時間
- 石垣(乗継) 宮古(乗継)
- 沖繩(那覇) 約2時間
- 神戸-関西ベイシャトルで 関西国際空港 30分
- ポートライナーで 18分

※所要時間は概算(最短時間)

ご搭乗の方は空港駐車場24時間まで無料 2日目以降 1000円/日

神戸空港利用推進協議会 <http://www.kairport.co.jp/>

2016.2.16おかげさまで神戸空港開港10周年

MARINE AIR 10

<就航会社>全日空(ANA)、スカイマーク(SKY)、ソラシド エア、エアドゥ(ADO)

ワールド記念ホール(神戸ポートアイランドホール)

(公財)神戸市スポーツ教育協会・(株)神戸国際会館・(株)アシックス 共同企画

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-12-2
Tel (078) 302-8781 Fax (078) 303-4006
URL <http://www.world-kobe.jp>
アクセス 神戸空港からポートライナーで8分(市民広場駅下車)
各線3駅からポートライナーで10分(市民広場駅下車)

各種設営・装飾・看板等の製作から、アトラクションの企画・運営・実施まで神戸国際ステージサービスは、イメージを形にする会社です。

KISS

神戸国際ステージサービス株式会社
<http://www.kiss4u.co.jp>

【本社】
〒651-0087 神戸市中央区御幸通8丁目1-6
☎ 078-230-3310 [営業部] ☎ 078-230-3360 [総務部]

【垂水営業所】
〒655-0861 神戸市垂水区下畑町78-4
☎ 078-752-5936 [営業部] ☎ 078-752-3946 [技術制作部]

【姫路営業所】
〒670-0952 姫路市南条1丁目36番地
☎ 079-223-6777

第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会

会期 / 2016年5月21日(土)
 会場 / 神戸国際会議場
 会長 / 宮井 一郎 (社会医療法人大道会 森之宮病院 院長代理)

第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会を、平成28年5月21日(土)に神戸国際会議場にて開催させていただきますことになりました。

本学会学術集会は、ニューロリハビリテーションに携わるリハビリテーション医、神経内科医、脳外科医、整形外科医、療法士、看護師や脳科学の研究者が一堂に会し、ニューロリハビリテーションに関する最新の知識と情報を交換・発信する場であり、学際的な臨床研究および治療開発を通して、わが国の医学・医療の発展と国民の健康と福祉の向上に大きく貢献することを目的としています。

そこでメインテーマを「ニューロリハビリテーションにおける基礎から臨床への橋渡し」としました。第57回日本神経学会学術集会(梶龍児大会長)と共同開催となり、これまで以上に多彩で活発な意見交換がなされるものと期待されます。多くの臨床家、研究者、専門職の方々が参加されるよう、心よりお願い申し上げます。



ホームページ <http://www.congre.co.jp/jsnrnr2016/>

第20回 神戸国際宝飾展(IJK2016)

会期 / 2016年5月11日(水)～13日(金)
 会場 / 神戸国際展示場
 主催 / リードエグジビジョンジャパン株式会社
 特別後援 / 一般社団法人 日本真珠振興会

●「震災復興の一助に」が開催のきっかけとなった、西日本最大の宝飾展

阪神・淡路大震災は、神戸を拠点とする多くの真珠メーカーにも大きなダメージを与えました。本展はそんな中、神戸の宝飾関係者から「震災復興の意味でも、ぜひ神戸で宝飾展を開催してほしい」という強い要望を受け、1997年に第1回目を開催した展示会です。

現在では世界15カ国570社が出展する、西日本最大の見本市に成長しました。会期中は世界中からバイヤーが訪れ、毎年、会場周辺の全てのホテルが満杯になり、神戸市へ大きな経済効果をもたらしています。本展には神戸ならではの真珠はもちろん、ダイヤモンドなどの素材、高品質なジュエリーからトレンド商品までが揃い、国内外の宝飾小売店・卸商をはじめとするバイヤーの宝飾品買い付けの場として高い評価を得ています。

展示会招待券は、ホームページ (www.ijk-fair.jp) から申し込み可能(無料)

ホームページ <http://www.ijk-fair.jp>



第65回高分子学会年次大会

会期 / 2016年5月25日(水)～27日(金)
 会場 / 神戸国際会議場、神戸国際展示場
 運営委員長 / 松本 章一 (大阪府立大学大学院 工学研究科)

高分子学会は、会員数10,000を超える学術団体として、高分子科学の基礎的分野から、機能性・高性能材料などの応用分野、例えば電気、電子、情報、バイオ、医療、輸送、建築、宇宙など幅広い研究分野の会員によって支えられています。

本会は、第65回年次大会を5月25日(水)から27日(金)の3日間にわたって神戸国際会議場・展示場にて開催します。高分子科学に携わる研究者・技術者が最新の研究成果を発表し、互いに密にコミュニケーションできる場を提供します。また、特別セッション「高分子・今・未来」では、「ネットワーク革新が拓く未来のものづくり」、「QOLの向上を目指した高分子技術の新展開」、「フレキシブルエレクトロニクス最前線」、「自動車の環境適合性・快適性に貢献する高分子材料」のテーマを取り上げます。高分子以外の分野をご専門とする方々も含めて、多くの皆様の参加をお待ちしています。



ホームページ <http://main.spsj.or.jp/nenkai.html>

第154回2016 秋冬 日本グランドシューズコレクション

会期 / 2016年5月25日(水)～26日(木)
 会場 / 神戸国際展示場2号館
 主催 / 日本ケミカルシューズ工業組合



西日本最大級の靴の展示会として、半世紀以上に亘って開催されてきた「日本グランドシューズコレクション」も今回で154回目を迎えます。今や神戸になくてはならないイベントに成長してまいりました。

「シューズの街神戸」として親しまれてきた地元の靴メーカーを中心に、現在では全国各地からも出展社が集まる一大事業として、今回も多くバイヤーが商談等に訪れる予定となっています。

出展企業はこの展示会を「売上拡大の場」、「新規取引先開拓の場」、「新商品発表(提案)の場」と捉えており、これまでに培ってきた技術とノウハウが凝縮された商品を発表致します。

当会場は神戸空港からも近く、交通アクセスも大変便利となっています。展示会の招待状をご希望のバイヤーの方は、当組合ホームページよりご登録をお願いします。



日本ケミカルシューズ工業組合
 担当 橋角
 TEL 078-641-2525
 FAX 078-641-2529
 (お問い合わせ)

ホームページ <http://www.csia.or.jp>

神戸リゾートの時間へ

ここにしかない神戸リゾート時間で
さらなる価値を企業の皆様にもたらしませます

▼ご宿泊予約受付ダイヤル
078-325-8111
(受付時間 9:00～22:00)

▼ご宴会予約専用ダイヤル
078-325-8119
(受付時間 10:00～19:00)

神戸メリケンパークオリエンタルホテル
〒650-0042 神戸市中央区波止場町5-6
TEL.078-325-8111 (代表)
<http://www.kobe-orientalhotel.co.jp>

神戸メリケン 検索

交通アクセス抜群、MICEに最適なホテル

神戸の陸の玄関口「新神戸駅」直結。最大2,500名を収容できる大宴会場「ザ・ボールルーム」
 海拔180mからの眺望を存分にご満喫いただけるスカイバンケットなど、小さな会議から
 大きなパーティーまで、各種イベントに対応する大・中・小23のスペースをご用意しております。
 経験豊かなスタッフ、充実のサービスにより、イベントを成功へと導きます。

ANAクラウンプラザホテル神戸
 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目
 Tel 078-291-1121 Fax 078-291-1154
www.anacrowneplaza-kobe.jp

11th Annual Meeting of the Japanese Society for Molecular Imaging, 4th Annual Meeting of the Federation of Asian Society for Molecular Imaging

会期 / 2016年5月28日(土)～29日(日)
会場 / 神戸国際会議場
大会長 / 杉村 和朗 (神戸大学大学院医学研究科放射線医学分野 教授)

日本分子イメージング学会は、生体内における分子および細胞レベルの生物学的現象を解明するための研究を推進し、研究者相互の知識の交換・関連団体との連携を通じて、それらの成果としての臨床応用によって、学術の発展に寄与するとともに広く社会に貢献する事を目的とする学術団体です。

今大会テーマは「分子イメージングが切り拓く明日の医療 (Molecular Imaging - improving the future of medicine)」としました。臨床医の先生にも多くご参加頂き、多様な疾患を対象とし、最新の技術進歩と病態解明への貢献、さらに診断および治療法の向上について、分野横断的に議論したいと思います。今回は参加者の増加を見込み、シンポジウムや一般口演は2会場での同時進行にし、モーニングセミナーやランチョンセミナーの開催、など新しい試みに挑戦します。一人でも多くの皆さまにご参加いただけますことを心よりお待ちしております。

ホームページ <http://www.molecularimaging.jp/information/>



IHTESH 2016 Kobe 国際半導体先端科学技術環境安全会議

会期 / 2016年5月31日(火)～6月2日(木)
会場 / 神戸国際会議場
主催 / 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)



IHTESHは、世界の半導体業界が取り組む先進的な環境技術を発表する学会形式の国際会議であり、2008年以来、8年振りに我が国が開催国となり、この風光明媚な神戸にて実施することとなりました。

今回のキーノートセッションでは、産・学よりそれぞれお招きし、学界からはMEMS研究の第一人者である東京大学 藤田博之教授からIoT (Internet of Things) とMEMS技術融合による将来のかたちについてご講話頂きます。また産業界からは東京エレクトロンの東哲郎相談役からご講話頂きます。更に特別講演として、地元・神戸大学から、ウェアラブルデバイス研究の先陣を切る塚本昌彦教授よりご講話頂きます。

2日間に渡る技術発表では、地球温暖化対策、化学物質削減、資源活用・リサイクル等に活かされるあらゆる環境技術の提案を数多く予定しており、皆さまに様々なインスピレーションを湧かせられる催しとなることと存じます。

是非この機会に、多くのご参加を頂けますようお願い申し上げます。

ホームページ <http://ihtesh2016-kobe.jp/> (英語) <http://ihtesh2016-kobe.jp/jp/> (日本語)

平成28年度 一般社団法人日本樹木医会・兵庫大会

会期 / 2016年6月3日(金)～4日(土)
会場 / 神戸国際会議場
兵庫大会実行委員会委員長 / 鳥越 茂 (一般社団法人日本樹木医会 兵庫県支部長)

日本樹木医会は、樹木医を正会員とする一般社団法人で、樹木等の保全や樹木文化の発展などに関する活動を行い、広く環境の保全に寄与することを目的としています。正会員数は、現在2,200名を超えており、本年度の全国大会は兵庫県で開催します。全国大会では、定時社員総会、樹木医講演会、交歓会、エクスカッションなどの行事を行います。エクスカッションでは、姫路城及び竹田城において城跡と樹木管理との関係について現地検討を行います。

樹木医講演会は、樹木医だけでなく、行政担当者、樹木等に関心のある一般市民等が多数参加し、毎年度全国的なテーマのもと樹木等の効果的な保全方法などについて講演や意見交換などを行います。本年度は「先人たちに学ぶ緑の都市防災」、「兵庫県みどりのヘリテーマネージャーと樽見の大ザクラの紹介」、「兵庫県 (のフロア) と牧野富太郎」を演題として行います。一般市民の方々の参加を心よりお待ちしております。

ホームページ <http://www.jumokui.jp>



第64回日本化学療法学会総会

会期 / 2016年6月9日(木)～11日(土)
会場 / 神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル
会長 / 荒川 創一 (神戸大学医学部附属病院 感染制御部)

第64回日本化学療法学会総会は、テーマを「化学療法の今後は?—多方面からの再考—」とし、変貌目まぐるしい耐性菌の状況と、それを追いかけて対峙する抗菌化学療法の今後に光が見えるのかどうか、いろいろな角度から再検討を加え、本学会の立ち位置の重要性を今一度確認できる学術集会にしたいと考えております。先進7か国首脳会議 (伊勢志摩サミット) が5月に開かれ、そこで、耐性菌や新興感染症をいかに克服していくかが論議される予定であり、抗菌薬開発を中心とした感染症治療法の推進はグローバルにも喫緊の課題です。抗菌薬・化学療法を巡る最新の情報が提供できる学術集会を展開する所存です。

113番新元素発見者である森田浩介先生による、特別教育講演をはじめとして、様々な企画を立てておりますので、是非、多数の方々にご参加いただきたく、お待ちしております。

ホームページ <http://www.c-linkage.co.jp/jsc64/>



第40回母乳育児支援学習会in神戸

会期 / 2016年6月18日(土)～19日(日)
会場 / 神戸国際展示場2号館コンベンションホール
主催 / NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会

今回の学習会は、「切れ目のない母乳育児支援～施設と地域・他職種間との協働」をテーマです。母乳育児支援の基本スキルから、最近注目の産後ケア、社会全体で母乳育児を支援していくための仕組みに至るまで、実践的な情報をお伝えします。

ホームページ <http://www.jalc-net.jp/>

第4回日本腎不全栄養研究会学術集会・総会

会期 / 2016年6月25日(土)～26日(日)
会場 / 神戸国際会議場
大会長 / 濱田 康弘 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患治療栄養学分野 教授)

第4回日本腎不全栄養研究会学術集会・総会を2016年6月25日(土)、26日(日)、「チーム医療でめざす腎疾患栄養管理の質向上」をテーマに開催することとなりました。腎機能の低下に伴いカリウム、リン、塩分、水分管理が重要となり、これらの管理において食事・栄養療法は重要な位置を占めます。また、糖尿病が原疾患の場合は血糖を管理するためのさらに複雑な食事療法も必要となります。さらに近年、腎不全患者の低栄養にも注目が集まっております。低栄養状態は感染症等の合併症を引き起こし、この低栄養にも食事・栄養療法は必須です。本研究会は管理栄養士を中心とし、医師をはじめ多職種が協力して、腎不全患者の食事・栄養療法を啓蒙・発展させ、研究を重ねていく研究会であり、今後の腎不全医療における食事・栄養療法は本研究会にゆだねられております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ホームページ <http://www.jinfuzeneiyo.com/meeting.html>



脳血管内治療ブラッシュアップセミナー & EACoN 2016

会期 / 2016年6月30日(木)～7月3日(日)

会場 / 神戸国際展示場3号館

代表幹事 / 坂井 信幸(神戸市立医療センター中央市民病院)、宮地 茂(大阪医科大学)、江面 正幸(仙台医療センター)

我々は、脳血管内治療の安全な普及を図ることを目的に2003年より脳血管内治療ライブセミナーを行い、脳動脈瘤塞栓術や頸動脈ステント留置術などの血管内治療をライブ中継して、その治療戦略や各種医療機器の使用法などの解説を加えることにより、医師・コメディカルスタッフ・その他の医療関係者に脳血管内治療の実際を学ぶ機会を提供してきました。参加者は年々増加しており、昨年は900名を超える参加がありました。今年のブラッシュアップセミナー(BSNET2016)は、2016年6月30日(木)～7月3日(日)の4日間、神戸国際展示場で開催します。最終日には、日本・中国・韓国の3カ国で行うEast Asian Conference of Neurointerventionを併催します。日本開催は3度目となりますが、2013年の開催時には、海外からの参加者が200名を越え大いに盛り上がり、今年も多数の参加者を見込んでおり、年々進歩する脳血管内治療分野における東アジアの現状と今後について、熱いディスカッションが期待されます。



ホームページ <http://www.bsnet.umin.jp/>

創立60周年記念大会 第16回全日本フォークダンス大会

会期 / 2016年7月8日(金)～10日(日)

会場 / ワールド記念ホール、神戸国際展示場、神戸国際会議場、神戸市立中央体育館

主催 / 公益社団法人 日本フォークダンス連盟

当連盟が昭和31年7月創立以来、平成28年で60周年を迎えることを記念して、フォークダンス、日本民謡、スクエアダンス、ラウンドダンス、レクリエーションダンスの5種類のダンスを、神戸市で外国からの指導者、全国からの愛好者が約7,000人集まり、日頃の活動と研鑽の成果を発表しあうと共に、今後の発展を希してこの大会を開催します。

愛好者が集うが、神戸市の一般市民の方々とこの3日間を楽しむことを目的として開催します。



ホームページ <http://www.folf-dance.or.jp>

第23回日本義肢装具士協会学術大会

会期 / 2016年7月16日(土)～17日(日)

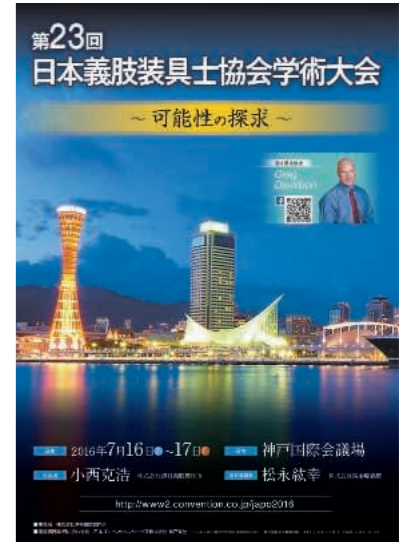
会場 / 神戸国際会議場

会長 / 小西 克浩(株式会社澤村義肢製作所)

日本義肢装具士協会は、国家資格である義肢装具士で構成される職能団体として、1991年に設立されました。年次全国学術大会・各支部セミナーの開催や定期学術誌の発行により、義肢装具士の資質の向上及び知識・技術の研鑽に努めております。また、学術大会開催により、一般ユーザーの方々への情報発信、他の専門職団体との共同関係の構築にも寄与してまいりました。

第23回大会では、テーマを「可能性の探求」とし、従来の義肢装具の枠を越え、新しいカテゴリのデバイスを探るきっかけとなるような指定演題を準備しております。尚、17日(日)午後には、商業展示・招待講演の一般公開と、装具療法に関する市民公開シンポジウム「CORABOSS特別企画」を予定しております。

多くの一般の方々のご参加をお待ち申し上げます。



ホームページ <http://www2.convention.co.jp/japo2016>

第14回日本臨床腫瘍学会学術集会

会期 / 2016年7月28日(木)～30日(土)

会場 / 神戸国際展示場、神戸国際会議場

会長 / 南 博信(神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科)

2016年の第14回日本臨床腫瘍学会学術集会を神戸で開催させていただくことになりました。近年の分子生物学の急速な進歩により、がんの発生・増殖・転移の機序が解明され、それに基づいた治療戦略が開発されています。これを効率的に臨床に昇華させるためには、従来の臓器・領域別の研究・診療体制ではなく、がんを臓器・領域横断的にとらえる必要があります。また、基礎研究と臨床研究を融和させる必要もあります。

そこで今回の学術集会のテーマを、『Breaking Through the Barriers: Optimizing Outcomes by Integration and Interaction』とし、がんの分子生物学の発展をがん患者および家族の利益に結びつけるために、領域を越えた産学官の連携を図りたいと考えております。このコンセプトのもと、臓器・領域別のプログラム以外に、横断的なプログラムを充実させ、従来の臓器・領域別の枠を越えた討論の場を提供できるようにしたいと企画しています。これが臨床腫瘍学の発展に寄与し、がん医療の向上につながるものと確信しています。

皆様の奮ってのお越しを心よりお待ちしております。



ホームページ <http://www2.convention.co.jp/jsmo2016>

温泉 de MICE

会議・宴会の後は、神戸六甲温泉「濱泉」で源泉かけ流しのお湯をお楽しみください。シェラトン・スイート・スリーパーベッドを完備した客室で、天使に抱かれるような心地よい眠りを。

□宴会場：一般宴会専用フロア(アネックス)3会場
ホテル本館7会場
□客室：270室(露天風呂付き客室2室)・無料Wi-Fi完備
□レストラン&バー：8店
□フィットネス施設：屋内プール、テニスコート、サウナ、トレーニングジム
□温浴施設：3F 神戸六甲温泉「濱泉」(天然温泉/源泉かけ流し)

ご予約・お問合せは

TEL : 078-857-7000

神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ
〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中2丁目13番地(六甲アイランド)
<http://www.sheraton-kobe.co.jp>

国際会議場・国際展示場

徒歩約7～10分

神戸空港

ポートライナーで約15分
市民広場駅乗り換え「中埠頭駅」下車徒歩3分

新神戸・三宮

無料シャトルバス運行

新神戸～ホテル…約25分
三宮～ホテル…約15分

〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-5-1
TEL:078-303-0100(代)
FAX:078-303-0211
URL <http://www.pearlcity.co.jp/kobe/>

17 CONVENTION KOBE

CONVENTION KOBE 18

第8回日本臨床睡眠医学会学術集会

会期 / 2016年8月5日(金)～7日(日)
 会場 / 神戸国際会議場
 組織委員長 / 香坂 雅子(特定医療法人朋友会石金病院)

第8回日本臨床睡眠医学会(Integrated Sleep Medicine Society Japan: ISMSJ)学術集会を神戸の地で開催することになりました。本学術集会は睡眠に関連するあらゆる職種の人々が睡眠医学を学び、それぞれの強みを睡眠医学の発展に向けて統合させることを目的としています。今回は、「睡眠と健康：光環境を見直す」をテーマとしました。近年、夜の過ごし方が変わり、LEDの開発とともに急速に光環境が変化してきていますが、光環境も睡眠に影響を及ぼす大きな要因のひとつです。そこで積極的な光附加による睡眠障害の改善について米国のAncoli-Israel先生に講演していただき、3日目のサテライトシンポジウム「上質な睡眠を得るための光環境とは？」では、日中の光環境ならびに夜の光環境が睡眠や生体リズムをどう変化させるのか、についてレビューしていく予定です。多くの皆様の参加をお待ちしております。



ホームページ <http://www.ismsj8th.net/>

固体におけるスピン関連現象の物理と応用に関する国際会議(PASPS 9)

会期 / 2016年8月8日(月)～11日(木)
 会場 / 神戸国際会議場
 実行委員長 / 大岩 顕(大阪大学産業科学研究所)・小林 研介(大阪大学大学院理学研究科)

神戸国際会議場で「固体におけるスピン関連現象の物理と応用に関する国際会議(PASPS 9)」を開催いたします。本会議は20年にわたり、「スピン」という電子や核が持つ磁石のような性質にまつわる物理とそれを応用したエレクトロニクス(スピントロニクス)の発展を支えてまいりました。第9回目となる今回はナノテクノロジーを使って実現されるスピンの新現象や革新的なスピントロニクス素子について世界トップレベルの著名な研究者と新進気鋭の若手研究者を多数集め、新しい潮流を概観します。

神戸という素晴らしい街で、活発な議論が繰り広げられると期待しております。PASPS9への皆様のご参加を心よりお待ちしております。



大岩 顕



小林 研介

ホームページ <http://www.pasps9.org>

第40回全国学校図書館研究大会(神戸大会)

会期 / 2016年8月8日(月)～10日(水)
 会場 / 神戸国際展示場2号館、神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB号館
 大会長 / 高井 芳朗(兵庫県教育長)

この度、第40回全国学校図書館研究大会(神戸大会)を開催いたします。全国の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が加盟する全国でも珍しい教育研究団体の大会です。

「アクティブ・ラーニングを支える学校図書館の在り方」をメインテーマに、文部科学省、兵庫県、神戸市、兵庫県市町村教育委員会連合会をはじめ、多くのご後援を得て上記の日程で開催いたします。約100講座の分科会は講演、講義、シンポジウム、実践報告、研究討議、ワークショップなど変化に富んだ内容となっています。学校図書館の活動に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。港町・神戸でみなさまのご参加をお待ちしております。



ホームページ <http://www.j-sla.or.jp>

第5回日本包括歯科臨床学会総会

会期 / 2016年8月27日(土)～28日(日)
 会場 / 神戸国際会議場
 会長 / 国賀 就一郎

第5回日本包括歯科臨床学会総会が神戸市で開催されます。日本包括歯科臨床学会は、顎口腔系の炎症の要素・力の要素を包括的な観点で診断し、最少の侵襲で持続性をともなった最大の治療効果を上げることを目的とし、2012年に設立されました。その後、歯科の各分野での本会員による活発な臨床報告などにより、歯科界で周知されるようになってきました。

今回の総会では「健口長寿を目指して」というテーマのもとに、ライフステージに応じた口腔の変化を読み取り、患者に寄り添った治療を施し、健やかなエイジングを獲得するための要点を整理・ディスカッションしたいと考えておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

ホームページ <http://22i.gr.jp/comp/>



第32回世界医学検査学会

会期 / 2016年8月31日(水)～9月4日(日)
 会場 / 神戸国際展示場
 会長 / 宮島 喜文(一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 会長)



第63回日本臨床検査医学会学術集会

会期 / 2016年9月1日(木)～9月4日(日)
 会場 / 神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル
 学会長 / 小柴 賢洋(兵庫医科大学臨床検査医学 主任教授)



第65回日本医学検査学会

会期 / 2016年9月3日(土)～9月4日(日)
 会場 / 神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル
 会長 / 中町 祐司(神戸大学医学部附属病院検査部/公益社団法人兵庫県臨床検査技師会 会長)



第11回日本臨床検査学教育学会学術大会

会期 / 2016年8月31日(水)～9月2日(金)
 会場 / 神戸国際展示場、神戸常盤大学
 会長 / 坂本 秀生(神戸常盤大学保健科学部医療検査学 学科長)



世界医学検査学会は日本では1988年神戸で開催し、今回で2回目となります。この国際学会の開催に伴い、国内の臨床検査を代表する臨床検査技師からなる日本医学検査学会、臨床検査医からなる日本臨床検査医学会と臨床検査技師養成校の教育者からなる日本臨床検査学教育学会学術大会を同時開催いたします。

このような同時開催は初めてで、臨床検査週間となります。国際学会のメインテーマは「international innovation of laboratory medicine」、特別講演はノーベル賞を受賞された田中耕一先生に「臨床検査における質量分析装置の実践的応用」、日本医学検査学会と日本臨床検査医学会のメインテーマは「Challenge」、特別講演は京都大学名誉教授の井村裕夫先生に「先制医療とその実践に向けての課題」を予定しています。日本臨床検査学教育学会学術大会のテーマは「臨床検査技師の国際化」として開催致します。これからの医療に役立つ臨床検査を目指して海外の臨床検査技師、国内の臨床検査技師、臨床検査医や臨床検査教育に携る者が最新の研究発表を行い熱い議論が交わされる予定となっています。市民公開講座も予定していますので、多くの方の参加を心よりお待ちしております。

第32回世界医学検査学会ホームページ <http://www.ifbls2016.org/>

第65回日本医学検査学会ホームページ <https://www.congre.co.jp/65jam/>

第63回日本臨床検査医学会学術集会ホームページ <http://www.congre.co.jp/63jslm/>

第11回日本臨床検査学教育学会学術大会ホームページ <http://www.jamte11.jp/>

補助金についてのご案内

神戸市(ポートピア81記念基金)

(一財)神戸国際観光コンベンション協会
 TEL 078-303-0090 FAX 078-302-6475
 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

(公財)中内力コンベンション振興財団

(公財)中内力コンベンション振興財団
 TEL 078-303-8111 FAX 078-303-4800
 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル内

国際フロンティア産業メッセ2016

会期 / 2016年9月8日(木)～9日(金)
会場 / 神戸国際展示場
主催 / 国際フロンティア産業メッセ2016実行委員会

入場無料

「次世代を創生する技術の結集」をテーマに、西日本最大級の産業総合展示会を開催し、ビジネスマッチングを推進します。

出展分野

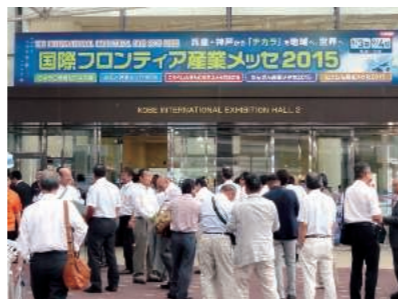
健康・医療、環境・エネルギー、航空・宇宙、ロボット、ものづくり、IT・IoT、電気・電子、ライフスタイル(食品・住宅等)、地域振興・地場産業、産学連携・支援機関 などの成長産業/先端技術

出展申込締切日 2016年6月10日(金)

出展規模 前回実績 431社・団体、499小間(同時開催事業含む)

同時開催(予定)

G7神戸保健大臣会合関連イベント、ひょうご環境ビジネス展、みなと元気メッセ2016、こうべしんぎんビジネスメッセ2016、たんぎん産業メッセ2016、にしん輝きメッセ2016



ホームページ <http://www.kobemesse.com/>

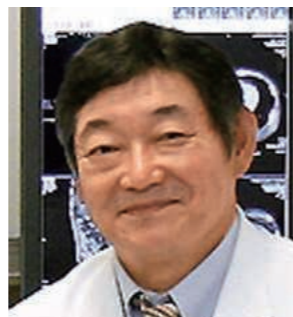
第23回日本門脈圧亢進症学会総会

会期 / 2016年9月9日(金)～10日(土)
会場 / 神戸国際会議場
会長 / 廣田 省三(兵庫医科大学放射線医学講座 主任教授)

第23回日本門脈圧亢進症学会総会を、平成28年9月9日(金)～10日(土)に、神戸国際会議場で開催することになりました。

「門亢症の未来予想」をテーマに進歩する門脈圧亢進症診療を議論し、若手研究者の教育セッションを盛り込み、学問レベルの向上を通じ広く国民の福祉に寄与できることをこの上なく光栄に存じております。

9月の神戸は、清々しい海風が皆様を迎えてくれると思います。私たちスタッフもおもてなしの心で準備しています。空いた日には観光、グルメとお楽しみ下さい。皆様の多数の参加をお待ちしております。



ホームページ <http://www2.convention.co.jp/23jsph/index.html>

第6回日本伝道会議

会期 / 2016年9月27日(火)～30日(金)
会場 / 神戸国際展示場、神戸国際会議場
実行委員長 / 竿代 照夫 会長 / 中台 孝雄

日本伝道会議は、1974年に日本福音同盟が主体となって第1回が京都で開催され、現在は独立した実行委員会によって7年に1度開催しています。そしてこの度は、第6回を日本のキリスト教会の歴史において重要な都市でもある神戸で開催できることを大変うれしく思っています。

この会議は、日本全国また海外からもクリスチャンの牧師また信徒たちが一同に会する大変意義深い会議です。特に今回は、4日間同じ8人の小グループでディスカッションをし交流を深めます。私たちはこれを「コイノニア(ギリシャ語で「交わり」)と呼んでいます。会議のテーマは、「再生へのRe-VISION～福音・世界・可能性～」です。閉塞感漂うこの時代に教会に何が出来るのかを謙遜に学び、また心一つにして祈りたいと思っています。もちろん神戸の街と食を満喫できることも楽しみにしています。

ホームページ <http://jcenet.org>



和の格式、神戸ならではの気品を添えて 世界をもてなすホテルオークラ神戸

みなと神戸のランドマークとして優雅にそびえるホテルオークラ神戸は、神戸の中心地・元町からも近く、絶好のロケーションに位置しております。多目的な大小15の宴会場をはじめ、各種レストラン&バーなど充実した施設を完備。自慢の料理、豊富な経験とホスピタリティで対応いたします。パーティ、国際規模の会議、セミナー、イベントなど様々な集いにご利用いただけます。

1階「平安の間」

- 面積：2,100㎡ 天井高：8.0m
- 収容人数：シアター 3,000名 スクール 1,400名
着席 1,400名 立食 3,000名

施設概要

- ◎客室数/475室 ◎宴会場/ 大小合わせて15会場 ◎レストラン/6店 ◎バー/1店
- ◎ヘルスクラブ(会員制) 屋内外プール/ジム/サウナ&バス/テニスコート ◎結婚式場(神式・チャペル)
- ◎衣裳室 ◎美容室 ◎写真室 ◎囲碁サロン(会員制) ◎ショッピングギャラリー
- ◎日本庭園(650坪) ◎駐車場(500台収容)

ホテルオークラ 神戸 〒650-8560 神戸市中央区波止場町2番1号 TEL.(078) 333-0111
<http://www.kobe.hotelokura.co.jp>

宿泊予約係 TEL.078-333-3555
宴会予約係 TEL.078-333-3801

祝・神戸空港開港10周年

記念乗車券 発売!!

**限定
1万枚**

発売金額
4区2回乗車で660円を
限定1万枚に限り
600円で発売

有効期間
平成28年
2月16日(火)～12月31日(土)

通信発売
1月16日(土)～9月30日(金)

お問い合わせ先 神戸新交通株式会社 営業推進課(平日9:00～17:00まで)
TEL.078-302-2775
(共催)神戸空港利用推進協議会

**神戸空港開港10周年記念乗車券を
ご購入の方に、抽選で賞品をプレゼント!**

【応募期間】平成28年2月16日(火)～10月31日(月)
【受付方法】神戸新交通ホームページ、専用応募ホームページからの応募

神戸空港店舗共通ご利用券 10名様
神戸空港開港10周年記念グッズ 100名様

ポートライナー全線
平成28年2月16日から平成28年12月31日まで
上記期間中の2回乗車に限り有効 **600円**

MICEと共に48年

コミュニケーションを通じ、人を育成し、
企業の発展に寄与し、街を活性化させ、
国の繁栄を支え、世界の人々の幸せをつくる。
それが私たちの願いです。



私たちは、神戸コンベンションコンソーシアムの一員として、
全国での豊富なコンベンション企画・準備・運営経験や
海外ネットワーク、クロスメディアを活用して、
グローバル MICE 都市・神戸の発展に貢献します。



神戸コンベンションコンソーシアム/構成団体

JCS 日本コンベンションサービス株式会社

医療系コンベンション 国際会議・企業コンベンション 通訳・翻訳・ドキュメント制作
人材派遣・公共サービス MICE施設管理運営 MICE都市研究所(調査)

ご相談は

TEL.078-303-1101 <http://www.convention.co.jp>

[神戸支社] 〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1 神戸国際交流会館6階
[本 社] 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階
海外ネットワーク:MCIグループ(31カ国61オフィス)、INCONパートナー(世界36カ国)

- KOBE PORTOPIA HOTEL -



Hospitality & MICE

国際都市・神戸のリーディングホテルとして
これからも信頼のサービスをお届けしてまいります

神戸空港から約8分のコンベンションエリアの中核に位置するポートピアホテル。
神戸国際会議場、神戸国際展示場などさまざまな施設が隣接。

1702人収容のポートピアホールは、国際会議からコンサートまで幅広く
ご利用いただける最新の設備を備えた多目的ホールです。
ホテル内の大小36の宴会場とのコーディネートにより
あらゆる研修会・表彰式典・懇親会等にお応えいたします。



ポートピアホール

ホテル概要

- 客室744室 ■宴会場36室 ■レストラン、バーなど12店
- 室内・屋外プール、テニスコート、ジム、サウナ、エステティックサロン
- ショッピングアーケード ■駐車場450台収容

ポートピアホール概要

- 〈客 席〉■シアター形式 1,702席 ■スクール形式 610席
- 〈ホール機能〉■コンサートホール対応(残響可変装置・音響反射板設置)
- 6か国語同時通訳設備

ご予約・お問い合わせは…

TEL.078-302-1111



神戸コンベンションコンソーシアム/構成団体

神戸ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1
ホームページ <http://www.portopia.co.jp>